

ねんりんピック効果83億

道が算出道、市町支出は10億

昨秋に道内16市町で開催された高齢者らによるスポーツや文化の祭典「ねんりんピック北海道・札幌2009」（道など主催）の経済波及効果が道の計算で83億2300万円に上ったことが分かった。

ねんりんピックは昨年9月5～8日、札幌市などで開催され、サッカーやテニスなどのスポーツ、将棋などの文化交流計21種目が開催され、イベントなどを含め延べ53万8900人が参加した。

総支出額は、道や市町が支出した事業費が10億6600万円、選手や役員、観客らが飲食や宿泊などで支出した額が50億2100万円。さらに、雇用創出などの効果を合わせると83億

2300万円に上ったと人に対する消費額のアンケートなどをもとに算出

導入した燃料改質器を手に取る紫藤社長



タクシー全車 燃費向上

ダイコクグループ 改質器導入

札幌市や石狩市でタクシーを運行する「ダイコク交通」などからなる「ダイコクグループ」（札幌市）は、昨年未だに、保有するタクシー約100台すべてに燃料改質器を装着した。走行テストでは燃費が1台当たり7.1%改善したという。紫藤正行社長は「地球環境問題に積極的にかかわる時代。二酸化炭素の排出

一人当たりの支出額は、選手や役員が13万8900円、観客らは7200円。アンケートでは選手らの5割以上が「観光も予定している」と回答し、経済効果が広がっているデータも出ている。

削減に取り組んでいきたい」と話している。

装着した改質器は、セラミック製品の製造販売を行う「フエニック」（横浜市）が開発したもので、シート状のセラミックを、エンジンルームの外気導入部分に巻き付ける。軽油などがシートに触れると、遠赤外線などの作用で燃費が向上し、排出ガスの有害成分も

第34回読売新聞社杯 リュージュ競技大会

2010年1月24日（日）
午前9時30分
札幌市藤野リュージュ競技場

【競技種目】▽一般の部（男女混合）40歳以下小学生の部（男女混合）250歳以下
【賞】各種目1～3位に賞状とメダル、4～6位に賞状
【参加料】無料
【問い合わせ】札幌リュージュ連盟（伊藤理事長、090・5955・9344）
主催 読売新聞北海道支社、札幌リュージュ連盟

子宮脱センター開設

12日 市立札幌病院に

札幌市立札幌病院は、中器脱を治療する「子宮脱センター」を、12日から産婦

人科内に開設する。

性器脱は、女性の骨盤の中にある子宮や膀胱、直腸などの臓器が、筋肉繊維の緩みや損傷で体外に出してしまう病気で、下腹部痛や残尿感をともなう。潜在的患者は500万人と推測され、治療を受ける患者は年間5万～10万人いる。同病院でも、年間200例程度の外来があるという。重症化すると、手術が必要で、従来は臓器の一部を切除して組織を縫い合わせる方法をとっていたが、再発率も高かった。同病院では、切除せずに、ポリプロピレン製のメッシュで補強する「TVM」と呼ばれる新しい手術方法を積極的に採用し、これまでに約90例手術してきた。同センター

道内の知的障害者4人が創作した絵画や造形など38点が、3月から半年間、パブリック・サン・ピエール美術館の「アール・ブリュット ジャポネ展」で展示される。関係者によると、道内の知的障害者の作品がアール・ブリュットとして海外で紹介されるのは初めてという。

4人は、深川市納内町の障害者支援施設「あかとき学園」に通う平瀬敏裕さん（38）と入所者の大槻公子さん（59）、札幌市在住の西本政敏さん（33）と畑中亜未さん（16）。アール・ブリュットを反義